

第 104 回定例研究会

9 月 18 日(金)

於:静岡県評会議室

「88 万ウォン世代」論に見る 韓国若者世代の就労とアイデンティティ

報告者:福島 みのり 氏 (常葉大学 講師)

はじめに

フリーター、ニートなど次世代を担う若者が社会的弱者に転落して久しいが、これは日本のみでなく韓国、欧米諸国に共通した現象でもある。近年韓国の若者の間では「88 万ウォン世代」(「88 万ウォン」とは 20 代非正規職の月給平均)という若者論を自分たちの世代の問題として受け入れ、大衆文化を通じた文化実践、SNS を通じた政治参加、環境・福祉・教育関連の社会的企業で働く若者など、こうした危機的状況に対し、多様な実践を組織化する動きが見られる。こうした同時代を生きる韓国の若者を観察することを通じて日本、そしてグローバル社会における若者問題を考えたい。

グローバル時代の大学生活と就職活動

- ・大学進学率 72% / 大卒就業率: 55% / 青年失業率 10% / 大学院進学率の上昇
- ・大学の成績・英語・パソコンなどの資格、ボランティア経験の有無、そのほかの実績等を数値化したもの(スペック)が高いほど就職に有利
- ・公務員・大手企業を志向する若者たち / 国の事務職公務員: 74.8 倍
- ・中小企業の賃金は、大企業の 63.2%
- ・留学先での就職をめざす若者

若者世代の社会運動と代案的な働き方への模索

- ・「88 万ウォン世代」論の登場と当事者による社会運動と文化的実践
- ・青年失業は就職問題のみではなく、世代間格差をはじめとした韓国社会全体の構造上の問題と関連

している。

・「スペックに投資する人生」と決別し、「生き方を変える」こと、「社会を変える」ことを積極的に実践している若者が増えている。

・声を上げはじめた若者

キム・エスルの自主退学宣言、授業料半額デモ、青年ユニオン、青年党

・若者の民主主義

18 代大統領選挙(2012)では、20、30 代の 65%以上が野党ムン・ジェイン候補に投票した。(公約:福祉・雇用を保障)

ソウル市長に市民運動家のパク・ウォンスンが当選した。市立大学の学費を半分に、若者に関する政策を推進する。

・青年失業問題への省察

・社会的企業で働く若者は、自分が主体的に何かを作り上げる仕事を通じて、自分が成長できる経験、まわりの人と連帯する生き方が、大きな満足感につながっていると語る。

・彼らは、新自由主義政策下における労働の道具化、権威主義的な人間関係、人種、性差別、環境破壊、市場原理主義など、犠牲の上に成り立つ成長、発展に対して異議を唱える世代でもある。

・韓国語で「遊び団」を意味する「ノリダン」の公演や路上パフォーマンスは大人気で、ニューヨークなどで海外公演も行っている。「好きなことをして世界を変えよう」、そんなポジティブなメッセージを発し、若者雇用や環境問題、地域再生に挑戦する、韓国を代表する社会的企業だ。

* 連絡先: 静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973
〒422-8062 静岡市駿河区稲川 2-2-1 セキスイハイムビルディング 7F (静岡県評内)
メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/shizuokarouken/>